

I. グローバル・エデュケーション・センター科目概要・注意事項

グローバル・エデュケーション・センター（GEC）提供科目は、大きく分けて以下の科目区分に集約されます。

1. アカデミック・ライティング科目
2. 数学科目
3. データ科学科目
4. 情報科目
5. 英語科目
6. 言語科目
7. 保健体育科目
8. 自然科学科目
9. 人文・社会科学科目
10. 日本語教育科目
11. 人間的力量科目

ここでは、各科目区分の概要と注意事項を紹介します。科目登録の前によく確認し、自分の興味ある科目を選ぶようにしましょう。科目の内容など詳細は、Web シラバスで確認できます。

1. アカデミック・ライティング科目

オンデマンド科目「学術的文章の作成」では、学術的文章の慣習、語句の適切な使い方、分かりやすい構成の方法、引用と出典の明記の仕方など、論文やレポート提出に求められる技能を学びます。文章作成力の向上と同時に思考そのものも鍛えることができます。あわせて、早稲田キャンパス 3 号館 2 階の「ライティング・センター」での対面もしくはオンラインで、アカデミック・ライティングについてのセッションを受けることが可能です。

アカデミック・ライティング・プログラム 二つの柱

ライティング・センター

個別相談支援



全学部生・
大学院生・教員



多様な文章支援



複数言語対応



授業期間中に
開室



「学術的文章の作成」授業

フルオンデマンド
授業



主に大学1年生を
対象



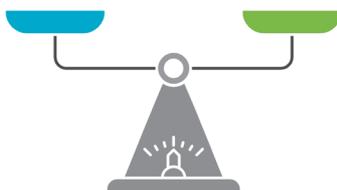
指導員による
課題添削



使用言語：
日本語



正規授業として
単位付与



2. 数学科目

身近なテーマを通して数学の基礎知識を身につけ、同時に数学的な論理的思考力を養います。金利などのテーマを、初級レベルからステップアップして学ぶことができます。オンデマンドの授業で不明点があれば、メールやオンライン指導のほか早稲田キャンパス3号館2階にある「Math and Stat Center (MSC)」でラーニングアシスタントによる個別指導を受けることも可能です。積極的に活用してください。

【数学科目マップ】

グローバル・エデュケーション・センター (GEC) **数学** 学習マップ
 ～「数学的思考力」を身につけよう～

社会に出て必要な **数学的知識・論理的思考力** を在学中に身につけたい
 → **GECでは以下の数学科目を用意しています**

◆ 数学を基礎から学びたい (フルオンデマンド授業)

科目名: **数学基礎プラス**○○○

レベル分け問題は →



レベル	金利・解析学系統	最適化・線形代数学系統	
初級	α (金利編) 単利・複利・数列・指数・対数	α (最適化編) 行列・線形計画問題	α (線形システム編) 連立1次方程式・行列式
中級	β (金利編) 貯蓄・ローン・漸化式・極限	β (最適化編) 逆行列・双対問題	β (線形システム編) 線形空間・線形変換
上級	γ (解析学編) 微分・偏微分・効用最大化	シラバス検索で詳細をチェック → キーワード: 数学 学部: グローバル で検索	
最上級	δ (解析学編) 積分・微分方程式・経済モデル		



◆ 数学的構造を知りたい (「曲線の微分幾何学」は対面/他はフルオンデマンド)

科目名	概要
素数の魅力と暗号理論	RSA 暗号の仕組みについて 整数や素数の性質を使って調べる
視覚的に捉える群論入門	群について あみだくじやルービックキューブなどを使って調べる
結び目で見る数学の世界	結び目がほどけるかどうか 3種類の変形や多項式を使って調べる
曲線の微分幾何学	身の回りの曲線の形や仕組みについて 微積分などを使って調べる

◆ ことばと数学を学びたい (対面授業)

科目名	概要
英語と数学の読み方	数学ゲームなど実際にプレイしながら 英語の文献を読むためのコツと数学の論理展開の両方を身につける
ロジカルシンキング入門	やさしい数学の題材を使って 論理的な話し方・書き方を身につける

3. データ科学科目

膨大な量のデータが溢れている現代において、データ科学の知識は文理系問わず、必要なものとなっています。

GEC では、学部や学年に関わらず履修できるデータ科学科目を、基礎から応用まで一通り学べるよう提供しています。ノウハウだけではないデータ科学の考え方をしっかり学び、実際に自らの手でデータ解析を行えるようになることを目的としています。

GEC で提供しているデータ科学関連の科目は、オンデマンド科目（一部科目を除く）であり、これまでにデータ科学を学んだことのない学生や文系の学生でも学べるように作成されています。興味を持った人は是非「データ科学入門シリーズ」から学んでみてください。統計学をより深く学びたい人は「統計リテラシーシリーズ」や「R による統計解析」を履修してください。

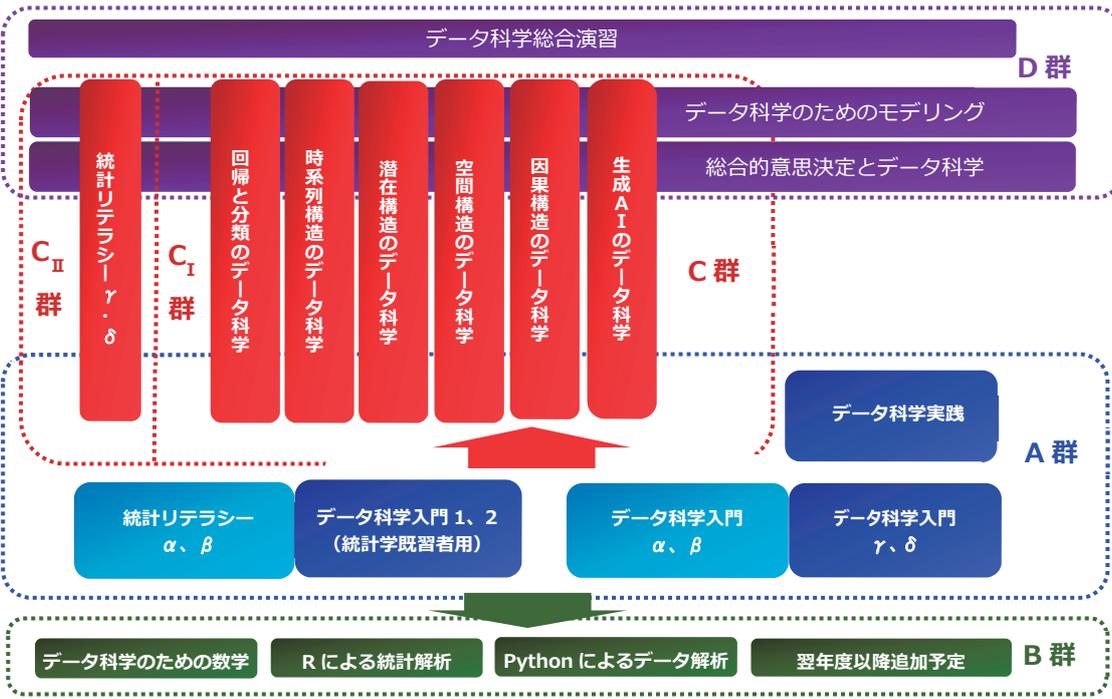
また、GEC のデータ科学科目の内容に限らず、データ科学に関連した疑問や分からない点がある場合、早稲田キャンパス3号館2階にある「Math and Stat Center (MSC)」でラーニングアシスタントによる個別指導を受けることが可能です。積極的に活用してください。

【データ科学科目マップ】

データ科学はデータの種類や活用する目的が大切な学問です。はじめてデータ科学を学ぶ方は、まず A 群科目から学ぶことをお勧めします。統計学や機械学習を含むデータ科学の考え方から学びたい方は、まず「データ科学入門 α 、 β 、 γ 、 δ 」の順に学ぶことをお勧めします。一方で統計学を中心に学びたい方は、まず「統計リテラシー α 、 β 」を学ぶことをお勧めします。「データ科学入門 1、2（統計学既習者用）」は、統計学の基礎を学んだ人を対象に「データ科学入門 $\alpha \sim \delta$ 」の内容をまとめた科目ですので「統計リテラシー α 、 β 」の後に学ぶと良いでしょう。「データ科学実践」は、データ科学の考え方とスキルを用いて、得られたデータを実践的に活用することを目的とした科目ですのでお勧めです。

本学では、「データ科学認定制度」を設置しています。対象科目を履修し、各級の定める要件を満たした学生に対して、認定証明書を発行します。「データ科学認定制度」の詳しい内容は、147 ページをご確認ください。

カリキュラムマップ



A群	★データ科学入門シリーズ ～データ科学の考え方を基礎から身につける～
Step 1	◆ データ科学入門 α データ解析の考え方の基礎を学ぶ キーワード：基本統計量、確率分布、データ解析の考え方
Step 2	◆ データ科学入門 β 帰帰問題・分類問題の問題設定と基本的な考え方を学習する キーワード：帰帰分析、最小二乗法、分類問題、判別分析、ロジスティック帰帰
Step 3	◆ データ科学入門 γ 帰帰問題・分類問題において適切なモデルを設定する方法について学習する キーワード：変数選択、交互作用、モデル選択、クロスバリデーション、正則化
Step 4	◆ データ科学入門 δ データ解析の一連の流れを実践的に学ぶ キーワード：クラスタリング、データの取り扱い、データの前処理、解析結果の考察
Step 5	◆ データ科学実践 データを活用する目的の設定、分析、検証、考察の一連の流れを実践的に学ぶ

A群	★統計学を中心に学びたい方 ～統計学の基礎から積み上げ式で学ぶ～
Step 1	◆ 統計リテラシー α データを視覚的・数値的に要約する「記述統計学」を学ぶ キーワード：グラフ、ヒストグラム、基本統計量、散布図、相関係数、分割表
Step 2	◆ 統計リテラシー β 推測統計学を学ぶために必要な「確率論」を学ぶ キーワード：確率変数、確率分布、正規分布、期待値、分散
Step 3, 4	◆ データ科学入門1・2 (統計学既習者用) 統計学の基礎を学んだ人を対象に「データ科学入門 $\alpha \sim \delta$ 」の内容を2科目で体系的に学ぶ
Step 5	◆ データ科学実践 データを活用する目的の設定、分析、検証、考察の一連の流れを実践的に学ぶ

B 群	<p>★統計・データ科学をより深く理解し活用するための基礎</p> <p>◆データ科学のための数学 データ科学を深く理解するために必要な数学の基礎を学ぶ キーワード：線形代数、微積分、確率</p> <p>◆R による統計解析 統計解析ソフト R を利用し、記述統計から推測統計及びデータ解析法を学ぶ</p> <p>◆Python によるデータ解析 プログラミング言語 Python を基礎から学びつつ、データ分析に特化した豊富なライブラリを活用したデータ分析について学ぶ</p>
------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

C 群	<p>★自身の持つ専門性に対してデータ科学を活用するための科目を選択</p> <p>◆回帰と分類のデータ科学 様々な分野で重要となる回帰と分類の考え方を深める キーワード：重回帰分析の統計的性質、一般化線形モデル、木モデル、カーネル法、ニューラルネットワーク、ディープラーニング、集団学習</p> <p>◆時系列構造のデータ科学 時間に変化する系列に対するデータ科学を学ぶ キーワード：時系列構造とは、トレンド、自己回帰モデル、マルコフモデル、状態空間モデル</p> <p>◆潜在構造のデータ科学 データの背後にある潜在的な変数及び数理構造に対するデータ科学の考え方を学ぶ 潜在構造とは、因子分析、グラフィカルモデル、階層ベイズ、潜在クラス分析、構造方程式モデリング</p> <p>◆空間構造のデータ科学 空間的な変数あるいは関係を持つ変数からなるデータに対するデータ科学の考え方を学ぶ キーワード：データと空間構造、空間データと関係データ、有向グラフモデル、無向グラフモデル、様々な基底によるデータの表現、畳み込みニューラルネットワーク</p> <p>◆因果構造のデータ科学 データから背後に存在する因果構造を明らかにするデータ科学の考え方を学ぶ キーワード：相関と因果、ランダム化比較実験、統計的因果推論、傾向スコア、因果ダイアグラム</p> <p>◆生成 AI のデータ科学 テキスト生成 AI や画像生成 AI など、生成 AI の考え方や原理について、データ科学及び意思決定画像の観点から学ぶ キーワード：深層学習、画像の生成 AI、テキストの生成 AI、問題点と対策、生成 AI の応用</p>
C_I 群	
C_{II} 群	<p>◆統計リテラシー γ データから母集団の性質を確率的に推測する「推測統計学の基礎」を学ぶ キーワード：サンプリング、大数の法則、中心極限定理、点推定、区間推定、仮説検定</p> <p>◆統計リテラシー δ 卒業研究などで必要となる「実践的な推測統計学」を学ぶ キーワード：母集団の比較、適合度検定、相関係数の検定、分散分析</p>

D 群	<p>★自身の専門領域以外においてもデータ科学を活用できるようにする</p> <p>◆データ科学のためのモニタリング データ科学で重要な数理モデルの考え方について学ぶ キーワード：数理モデル、確率変数、データの構造、潜在変数</p> <p>◆データ科学総合演習 データ科学で重要な数理モデルをどのように設定するかについて学ぶ キーワード：データの特徴の把握、数理モデルの設定・説明、分析とまとめ</p> <p>◆総合的意思決定とデータ科学 学術研究、企業活動等における複雑かつ階層的な意思決定のデータ科学を学ぶ キーワード：意思決定、問題発見、問題解決、PDCA サイクル</p>
------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4. 情報科目

日常生活だけでなく、あらゆる場面で情報環境が活用されている現代社会では、専門分野を問わず、情報学の知識と技術が必要になっています。情報学として今のうちにしっかりとこれらの基礎を身につけておけば、今後の情報化社会において情報技術を活用し、そして自分自身の「強み」を支える土台となるでしょう。

GEC では、大学生としての素養、そして卒業後に社会人として不可欠となるこれらの知識と技術を、多面的に修得できる情報科目を提供しています。

GEC の情報科目は、以下の3つのカテゴリに分かれています。

ア：情報技術の概念・利用

情報リテラシー、情報の原理、情報社会の動向を学び、それらを組み合わせて情報の概念や処理方法、人間社会での役割や重要性を修得する

イ：情報技術の仕組・実装

ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、マルチメディアの構造や動作を学び、それらを組み合わせて目的を具現化する方法を修得する

ウ：情報技術の設計・運用

情報基盤、情報セキュリティ、情報デザインを学び、それらを組み合わせて信頼性と使いやすさを備えた情報システムの管理方法を修得する

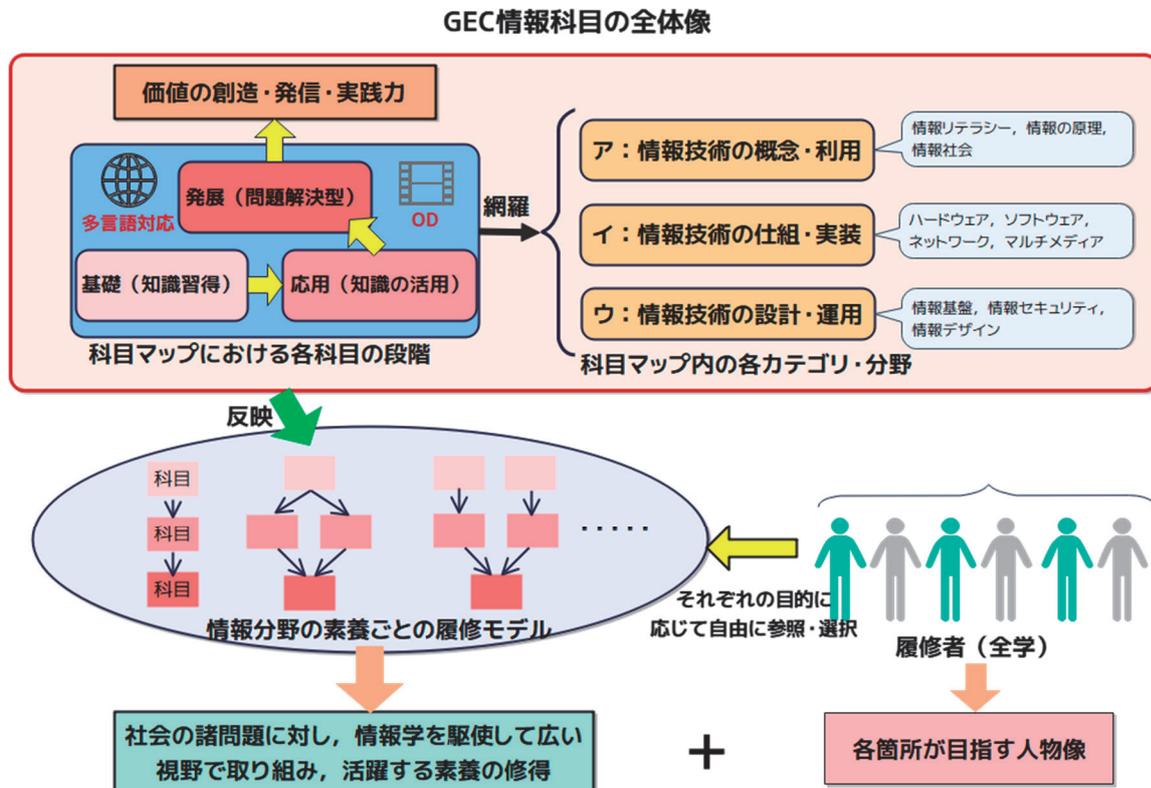
各カテゴリにはさらに分野や段階が用意されているため、皆さんの目的、技量、時間設定に合わせた科目選択ができるように考慮されています。詳しくは「**情報科目マップ**」を参照してください(25・26 ページを参照)。また、情報分野における主要な素養を身に付けるために、ア、イ、ウの科目をどのように組み合わせるべきかを示した「**履修モデル**」が用意されています(27・28 ページを参照。ただしあくまで参考として提示しているものであり、該当する職業や、履修モデルに相当する資格等の取得を保証するものではありません)。

必要とされる情報学の知識と技術を体系的に修得し、今後のキャリアパスに役立ててください。

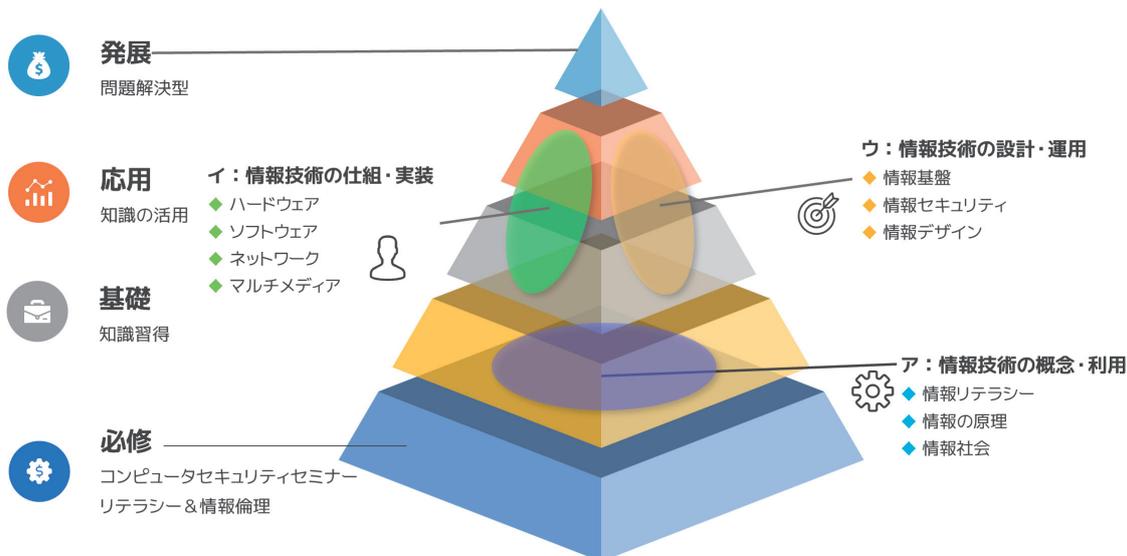
オンデマンドの授業(一部を除く)で不明点があれば、ビデオチャットツールやメールのほか、早稲田キャンパス3号館2階にある「情報対面指導室」でラーニングアシスタントによる個別指導を受けることも可能です。積極的に活用してください。

【情報科目マップ】

情報科目は大きく3つのカテゴリに分類されます。さらに各カテゴリにおいて、段階や分野があり、自分の目的に応じて参照・選択してください。



カテゴリ間の関係



○情報科目マップ

ア：情報技術の概念・利用			
段階/分野	情報リテラシー	情報の原理	情報社会
発展	※2027年度以降に設置予定		
応用	※2027年度以降に設置予定	アルゴリズムとデータ構 α, β	※2027年度以降に設置予定
基礎	情報科学の基礎 プログラミング入門 Introduction to Programming データ分析の基礎	AIプログラミング基礎 コントラクトブリッジで学ぶ数理学入門	オープン・ソース・ソフトウェア概論 未来社会を創るセキュリティ最前線

イ：情報技術の仕組・実装				
段階/分野	ハードウェア	ソフトウェア	ネットワーク	マルチメディア
発展	※2027年度以降に設置予定			
応用	※2027年度以降に設置予定	ソフトウェア開発技術 α, β クライアントサイド Web プログラミング中級 サーバサイド Web プログラミング中級 プログラミング中級 (C/C++, Java, Python) データベース (管理と運用)	ネットワーク技術準中級	【サウンド】 ミュージック・プログラミング 【グラフィック】 マルチメディア中級 (画像処理とアニメーション) α, β
基礎	※2027年度以降に設置予定	クライアントサイド Web プログラミング初級 サーバサイド Web プログラミング初級 プログラミング初級 (C/C++, Java, Python) データベース (SQL 入門)	ネットワーク技術初級	【グラフィック】 CG エンジニア入門 マルチメディア初級 (画像処理とアニメーション) α, β

ウ：情報技術の設計・運用			
段階/分野	情報基盤	情報セキュリティ	情報デザイン
発展	※2027年度以降に設置予定		
応用	サーバマネジメント α, β	情報セキュリティ技術	※2027年度以降に設置予定
基礎	UNIX 入門	情報ネットワークセキュリティ	Web デザイン実践

GEC情報系科目の履修モデル

- ・情報学における主要な素養ごとに、どの科目をどのような順序で履修したらよいかを示したものです。各履修モデルのうち、太文字の科目は是非とも履修してほしい科目、それ以外は履修したほうが良い科目を示しています。
- ・各履修モデルは参考として提示しているものであり、該当する職業や、履修モデルに相当する資格等の取得を保証するものではありません。
- ・いずれの履修モデルも最初に「情報科学の基礎」「プログラミング入門」の履修を推奨しますが、前提知識があれば履修しなくても構いません。また、前提知識がある人は、必ずしも基礎、応用の順に履修する必要はありません。
- ・「発展科目」は、2026年度以降に設置予定です。

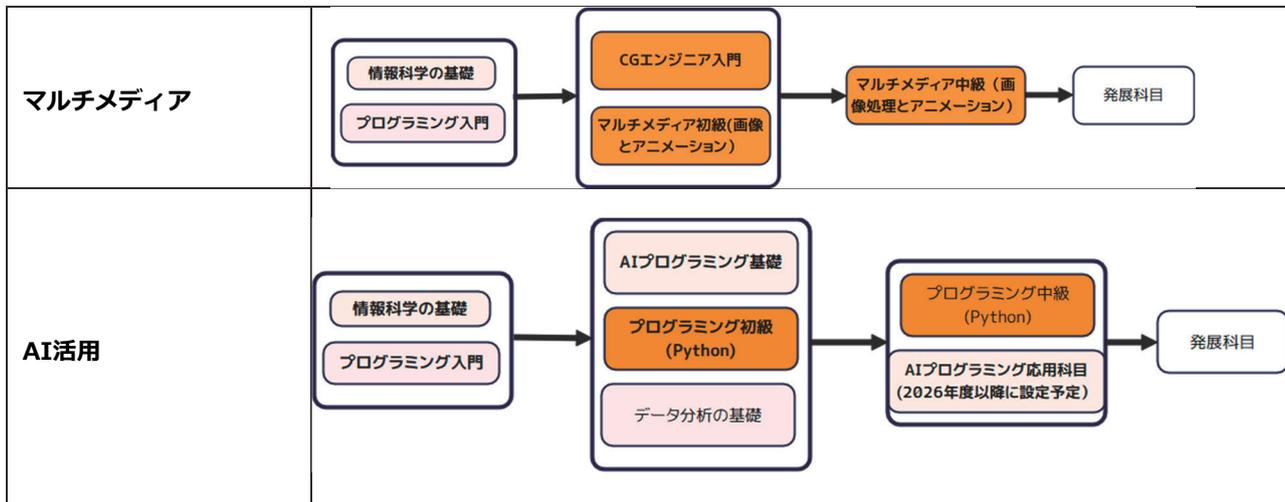
※履修モデルでは、情報科目の全てを表示しているとは限りません。また、年度によっては休講となっている科目も記載されています。各科目の詳細については「4. 情報科目」で確認してください。

ア：情報技術の概念・利用

イ：情報技術の仕組・実装

ウ：情報技術の設計・運用

得られる素養	履修フローモデル
ソフトウェア開発	
情報セキュリティ	
Webデザイン	
サーバサイドWeb	
情報ネットワーク	
情報システム基盤	
情報戦略	



情報科目「プログラミング入門」「Introduction to Programming」について

GEC が提供する情報科目のうち、これまでプログラミングを学習したことのない学生を対象としている「プログラミング入門」およびその英語版科目「Introduction to Programming」は、その科目の難易度に鑑みて、GEC が提供するプログラミング科目のうち、初級・中級レベルの科目の単位をすでに修得している学生は履修申請することができません。

具体的には、以下の科目の単位を修得済みの学生は、「プログラミング入門」および「Introduction to Programming」を過去に受講したことがない場合でも、それらの科目を履修申請し、受講することはできません。



- ・プログラミング初級 ※言語を問わず対象
- ・プログラミング中級 ※言語を問わず対象
- ・サーバサイド Web プログラミング初級
- ・サーバサイド Web プログラミング中級
- ・クライアントサイド Web プログラミング初級
- ・クライアントサイド Web プログラミング中級
- ・ミュージック・プログラミング
- ・AI プログラミング基礎

なお、「プログラミング入門」または「Introduction to Programming」の単位を修得したのちに、これらの初級・中級レベルの科目を履修申請し、受講することは可能です。

5. 英語科目

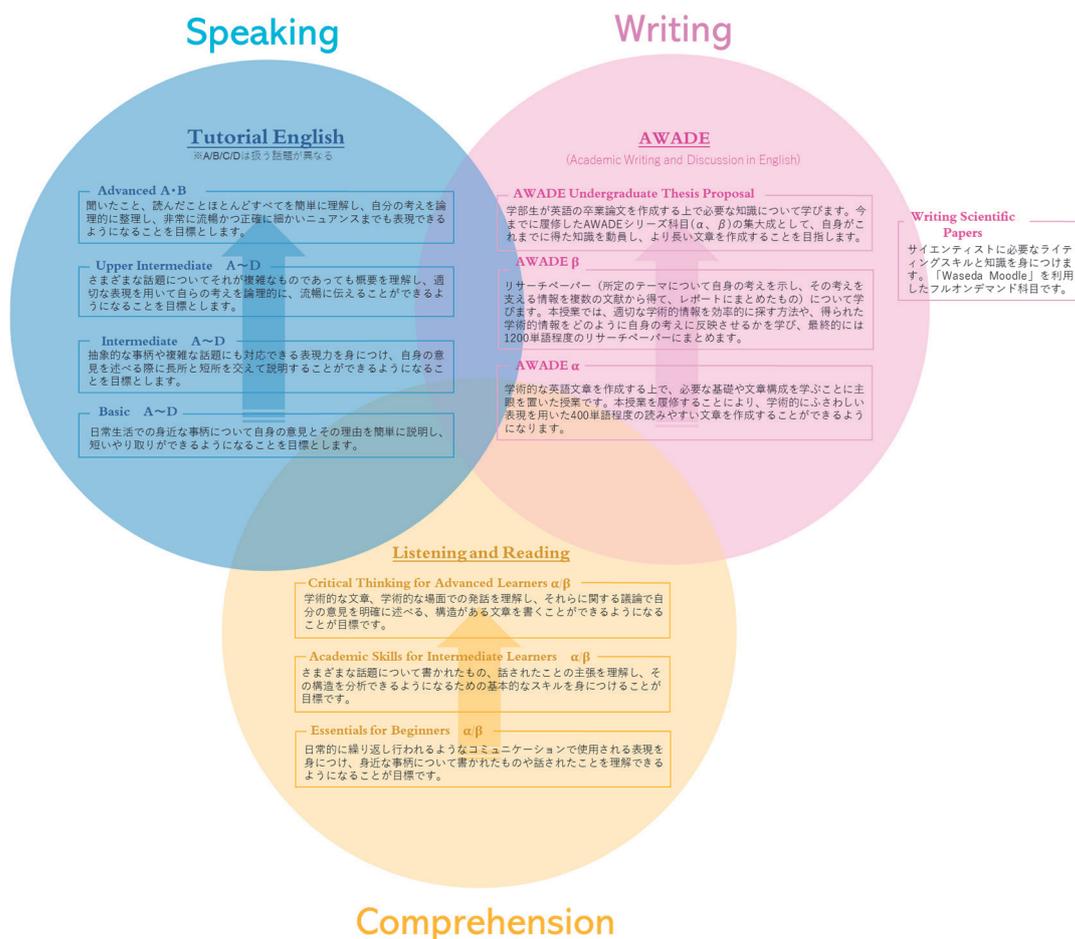
GEC 提供の英語科目は実践重視の参加型授業であり、学生の自己実現および国際人としての資質の育成を目的とし、英語の技能を「Speaking」「Writing」「Comprehension」に分け、それぞれの技能に焦点を当てた3種類の英語科目を提供しています。「Speaking」に焦点を当てた Tutorial English、「Writing」に焦点を当てた Academic Writing and Discussion in English (AWADE)、「Comprehension」に焦点を当てた Listening and Reading の3種の科目から、弱点克服のため、あるいは得意なところを伸ばすため、自身のレベルにあったクラスを選び、目的に合わせて英語の能力を伸ばしていくことができます。

- ・Speaking 科目 (英語による口頭コミュニケーション能力の向上を目的とする)
- ・Writing 科目 (英語で学術的文章を書けるようになることを目的とする)
- ・Comprehension 科目 (英語を聴く・読む能力の育成を目的とする)



GEC 提供の英語科目の授業内容、授業レベルが一目で確認できる、29 ページの**英語科目マップ**を参照し、科目選択時の参考にしてください。

【英語科目マップ】



Tutorial English および Listening and Reading の問い合わせ先 について

問い合わせの前に（履修ガイドについて）

Tutorial English および Listening and Reading の授業出席方法や成績評価について、各科目の履修ガイドに記載しています。履修する前に必ず内容をよく確認してください。

- ◆ Tutorial English 履修ガイド（A～D）＜クォーター科目＞の入手方法
 - ・ Web ページからダウンロード：<https://led.w-as.jp/guide.html>
 - ・ 早稲田ポータルオフィス・所属学部事務所
- ◆ Listening and Reading 履修ガイドの入手方法
 - ・ Web ページからダウンロード：<https://led.w-as.jp/guide.html>

問い合わせ先

Tutorial English および Listening and Reading の履修方法について不明点がある場合は、以下までお問い合わせください。なお、「よくある質問」を必ずご確認の上で、お問い合わせください。

＜問い合わせ先＞ 早稲田大学アカデミックソリューション事務所（29-2 号館 2 階）

電話：03-5286-8030（月～金 9：00～17：30）

※土曜日・日曜日・祝日に問い合わせる場合は、問い合わせフォームをご利用ください。

問い合わせフォーム：<https://led.w-as.jp/faq.html>

＜参考＞

よくある質問：<https://led.w-as.jp/faq.html>

科目詳細：<https://led.w-as.jp>

※問い合わせフォームからの回答は、翌平日以降になります。LANGX の受験期間の最終日に質問や問い合わせをフォームから行う場合、受験期間内に回答が間に合わない場合がありますので注意してください。

2026年度 ドイツ語 全学オープン科目マップ

到達目標 (共通レベル)	学期	総合	文法	ドイツ語コミュニケーション (少人数グループでの授業)	プレゼンテーション と ディスカッション	授業内容			時事ドイツ語 (ドイツ語圏の人々が 日々の出来事などをどのよう に考えているかを知る)	読 解 (ドイツ語圏の文学・文 化などの特長を知る)	読解法 (テキストの読 解力をスキルア ップする)
						口頭表現 (口頭コミュニケーションの 能力を向上させる)	文章表現 (初級独立作文から ドイツ語でのレポ ートの書き方まで を習得する)	ドイツ語圏の社会と言語 I <文>			
A1-1	春学期	ドイツ語総合基礎 A1-1<GEC>				ドイツ語で表現する1 (初歩の会話) <文>					
	秋学期	ドイツ語総合基礎 A1-2<GEC>									
A1-2	春学期	ドイツ語総合基礎 A1-2<GEC>									
	秋学期	ドイツ語総合基礎 A1-2<GEC>									
A1	春学期	Intensive German I 01 <国際教養>	春クォーター：ドイツ語文法 (入門)<GEC> 夏クォーター：ドイツ語文法 (初級)<GEC>								
	秋学期	Intensive German I 01 <国際教養>									
A2-1	春学期	ドイツ語総合基礎 A2-1<GEC>									
	秋学期	German III 51 <国際教養>									
A2-2	春学期	German IV 01 <国際教養>									
	秋学期	ドイツ語総合基礎 A2-2<GEC>									
A2	春学期			ドイツ語コミュニケーション (基礎) <GEC>			ドイツ語で表現する5 (中級の会話・作文) <文> ドイツ語で表現する7 (中級の会話・作文) <文> ドイツ語で表現する9 (中級の会話・作文) <文> ドイツ語コミュニケーションI <人科> ツールとしてのドイツ語V<教養>	ドイツ語圏の社会と言語 I <人科>	テーマで読むドイツ語1 <文> テーマで読むドイツ語5 <文> テーマで読むドイツ語7 <文> テーマで読むドイツ語8 <文>		
	秋学期	Intensive German II 51 <国際教養>				ドイツ語で表現する6 (中級の会話・作文) <文> ドイツ語で表現する8 (中級の会話・作文) <文> ドイツ語で表現する10 (中級の会話・作文) <文> ドイツ語コミュニケーションII <人科>		ドイツ語圏の社会と言語 II <人科>	テーマで読むドイツ語2 <文> テーマで読むドイツ語3 <文> テーマで読むドイツ語4 <文> テーマで読むドイツ語6 <文>		
A2→B1	春学期							ドイツ語選択：時事 ドイツ語 (上級) A1 <商>	ドイツ語圏文化A <人科> ドイツ語をじっくり読む1 <文> ドイツ語をじっくり読む5 <文> ドイツ語をじっくり読む7 <文>	ドイツ語選択：ドイツ文化研究 (上級) A1 <商>	
	秋学期			ドイツ語コミュニケーション (基礎) <GEC>				ドイツ語選択：時事 ドイツ語 (上級) B1 <商>	ドイツ語圏文化B <人科> ドイツ語をじっくり読む2 <文> ドイツ語をじっくり読む3 <文> ドイツ語をじっくり読む4 <文> ドイツ語をじっくり読む6 <文> ドイツ語をじっくり読む8 <文>	ドイツ語選択：ドイツ文化研究 (上級) B1 <商>	
B1→B2	春学期	独語実践演習 I (政経)		ドイツ語コミュニケーション (応用) <GEC>	アカデミックリテラ シー演習 (ドイツ語 で学ぶ) コソボの 現代社会) 01 <政経>				独語上級I <基礎理工>		
	秋学期	独語実践演習 II (政経)			アカデミックリテラ シー演習 (第二言語で学ぶ 社会文化) 01 <政経>				独語上級II <基礎理工>		
B2	春学期	独語上級 (総合) I (法)		ドイツ語コミュニケーション (上級) <GEC>					ドイツ語圏文化(研究・基礎理工)		
	秋学期	独語上級 (総合) I (法)									
B2→C1	春学期	独語実践演習 III A (政経)			ドイツ語テレビ会議 (言語・文化) <GEC>						
	秋学期	独語実践演習 III B (政経)			ドイツ語テレビ会議 (生活・社会) <GEC>						
C1	春学期	独語実践演習 IV (政経)									
	秋学期	独語実践演習 IV (政経)									

ドイツ語到達目標の互換
ドイツ語を学習するにあたって、学生が明確な目標を設定し、自分の能力をその程度位置づけることができるようにするため、到達目標は欧州評議会制定の共通参照レベルに準拠しています。以下、大学でドイツ語の学習を開始する場合のおおむねの目安を記します。

A1：一年次春学期および一年次秋学期

A2：二年次春学期および二年次秋学期

B1：三年次以上、B1のレベルに到達し「Goethe-Zertifikat B1/ ÖSD Zertifikat B1」に相当する実力を得た者は、提携校への交換留学が可能になる。

※一部の科目は2025年度休講になっていきます。

2026年度 フランス語 全学オープン科目マップ

レベル	学期	総合（資格試験対策を含む）				文章読解	口頭表現・作文	授 業 内 容						
		フランス語 総合基礎 A1-1_01 (A1前半) (GEC)	フランス語 総合基礎 A1-2 (A1後半) (GEC)	フランス語 総合基礎 A2-1 (A2前半) (GEC)	フランス語 総合基礎 A2-2 (A2後半) (GEC)			文化、社会、歴史、文学	文化、社会、歴史、文学	文化、社会、歴史、文学	文化、社会、歴史、文学			
A-1 (初級： おおむね1年 次に該当)	春学期		仏語（初級） I入門 （政経）				フランス語で 表現する1 （会話初級） A B（文）	フランス語 の社会と 言語 I 01 （人科）	フランス語圏 の社会と文化 （教育） 【注1】	フランス語圏 の文学 （教育） 【注1】	フランス語圏 の文学 （教育） 【注1】	French and International Relations I (A2-B1) (in French (in English) 【注2】 〈国際教育〉	French and International Relations II (A2- B1) (in French and English) 【秋学期】 〈国際教育〉 【注2】	Academic studies in France & French for Academic Purposes 【春学期】 【秋学期】 〈国際教育〉 【注2】
	秋学期	フランス語 総合基礎 A1-1_02 (GEC)		フランス語で 表現する3 （作文初級） A B（文）	フランス語 の社会と 言語 II 01 （人科）	フランス語圏 の社会と文化 （文）【注2】	フランス語圏 の社会と文化 （文）【注2】	フランス語圏 の社会と文化 （文）【注2】	フランス語圏 の社会と文化 （文）【注2】	フランス語圏 の社会と文化 （文）【注2】	フランス語圏 の社会と文化 （文）【注2】	French Literature I 【注3】 〈国際教育〉	French and Diplomacy I (in French and English) 〈国際教育〉	Learn French with Cinema 【春学期】 【秋学期】 〈国際教育〉 【注2】
A-2 (準中級： おおむね2年 次から2年次 次に該当)	春学期		仏語実践演習 III A_01 （政経）	フランス語で 表現する6 （会話初級） A B（文）	フランス語 の資格を めざす2 （中級）（文）	フランス語 圏の資格を めざす2 （中級）（文）	フランス語で 表現する2 （会話中級） A B（文）	フランス語 圏の資格を めざす2 （中級）（文）	フランス語 圏の資格を めざす2 （中級）（文）	フランス語 圏の資格を めざす2 （中級）（文）	フランス語 圏の資格を めざす2 （中級）（文）	French and Diplomacy I (in French and English) 〈国際教育〉	French and Diplomacy I (in French and English) 〈国際教育〉	Learn French with Cinema 【春学期】 【秋学期】 〈国際教育〉 【注2】
	秋学期	フランス語 総合基礎 A2-2 (A2後半) (GEC)		フランス語で 表現する8 （作文初級） A B（文）	フランス語 圏の資格を めざす2 （中級）（文）	フランス語 圏の資格を めざす2 （中級）（文）	フランス語で 表現する4 （作文中級） （文）	フランス語 圏の資格を めざす2 （中級）（文）	フランス語 圏の資格を めざす2 （中級）（文）	フランス語 圏の資格を めざす2 （中級）（文）	フランス語 圏の資格を めざす2 （中級）（文）	French Literature I 【注3】 〈国際教育〉	French and Diplomacy I (in French and English) 〈国際教育〉	Learn French with Cinema 【春学期】 【秋学期】 〈国際教育〉 【注2】
B-1 (中級： おおむね2年 次から3年次 次に該当)	春学期		仏語実践演習 III B_01 （政経）	フランス語で 表現する7 （会話中級） A B（文）	フランス語 圏の資格を めざす4 （中級）（文）	フランス語 圏の資格を めざす4 （中級）（文）	フランス語で 表現する9 （作文中級） （文）	フランス語 圏の資格を めざす4 （中級）（文）	フランス語 圏の資格を めざす4 （中級）（文）	フランス語 圏の資格を めざす4 （中級）（文）	フランス語 圏の資格を めざす4 （中級）（文）	French Literature I 【注3】 〈国際教育〉	French and Diplomacy I (in French and English) 〈国際教育〉	Learn French with Cinema 【春学期】 【秋学期】 〈国際教育〉 【注2】
	秋学期	French III 51 〈国際教育〉		フランス語で 表現する5 （会話・作文総合） （文）	フランス語 圏の資格を めざす4 （中級）（文）	フランス語 圏の資格を めざす4 （中級）（文）	フランス語で 表現する9 （作文中級） （文）	フランス語 圏の資格を めざす4 （中級）（文）	フランス語 圏の資格を めざす4 （中級）（文）	フランス語 圏の資格を めざす4 （中級）（文）	フランス語 圏の資格を めざす4 （中級）（文）	French Literature I 【注3】 〈国際教育〉	French and Diplomacy I (in French and English) 〈国際教育〉	Learn French with Cinema 【春学期】 【秋学期】 〈国際教育〉 【注2】
B-2 (上級)	春学期	フランス語 総合上級 (GEC)	仏語実践演習 III A_01 （政経）	フランス語で 表現する5 （会話・作文総合） （文）	フランス語 圏の資格を めざす4 （中級）（文）	フランス語 圏の資格を めざす4 （中級）（文）	フランス語で 表現する9 （作文中級） （文）	フランス語 圏の資格を めざす4 （中級）（文）	フランス語 圏の資格を めざす4 （中級）（文）	フランス語 圏の資格を めざす4 （中級）（文）	フランス語 圏の資格を めざす4 （中級）（文）	French Literature I 【注3】 〈国際教育〉	French and Diplomacy I (in French and English) 〈国際教育〉	Learn French with Cinema 【春学期】 【秋学期】 〈国際教育〉 【注2】
	秋学期	フランス語 総合上級 (GEC)	仏語実践演習 III B_01 （政経）	フランス語で 表現する10 （会話・作文総合） （文）	フランス語 圏の資格を めざす4 （中級）（文）	フランス語 圏の資格を めざす4 （中級）（文）	フランス語で 表現する9 （作文中級） （文）	フランス語 圏の資格を めざす4 （中級）（文）	フランス語 圏の資格を めざす4 （中級）（文）	フランス語 圏の資格を めざす4 （中級）（文）	フランス語 圏の資格を めざす4 （中級）（文）	French Literature I 【注3】 〈国際教育〉	French and Diplomacy I (in French and English) 〈国際教育〉	Learn French with Cinema 【春学期】 【秋学期】 〈国際教育〉 【注2】

* 文学部設置科目は、本マップに掲載されていないオープン科目も数あり、各学部提供科目一覧のページもご参照ください。
 * 左枠内のA-1、A-2、B-1、B-2は欧州連合による共通参照レベル。A-基礎段階の言語使用者 B-自立した言語使用者 C-熟達した言語使用者のレベル。Cは、フランス語による専門科目の講義レベル。
 * 以下は、各レベルについて、主に会話能力を中心とした説明。書く能力、読解能力については会話能力の説明に準じる。詳しくは、ネットなどで欧州連合の言語共通参照枠を参照のこと。
 A-1：日常の真実的な必要性を満足させるための基本的な表現を理解し、用いることができる。
 A-2：ごく基本的な個人や家族の話、あるいは買い物、仕事など直接自分に関わりのあることを話したり理解し、用いることができる。
 B-1：仕事、学校、娯楽に関する取り上げられる身近な話題について、標準的な話し方であえて母語話者より取りがりができるくらい流暢かつ自然に話せる。
 B-2：自分の専門分野の議論も含めて、抽象的かつ具体的な話題が理解できる。「読む」、「聞く」、「話す」、「書く」能力を総合的に学習。日本人講師がフランス人講師が組んで、文法や表現を学ぶためだけでなく、話す・書くためのスキルとして教える。
 ** グローバル・コミュニケーション・センター開設科目「総合」では、「読む」、「聞く」、「話す」、「書く」能力を総合的に学習。日本人講師がフランス人講師が組んで、文法や表現を学ぶためだけでなく、話す・書くためのスキルとして教える。
 【注1】これらは教職課程科目としてもおこなわれているが、普通に変講可能（ただし履修についてはシラバスを参照のこと）。
 【注2】レベルが複数にまたがるので、上記のように表示されている。
 【注3】2026年度は休講。

2026年度 中国語 オープン科目マップ

レベル	学期	授 業 内 容										検定試験対策 科目															
		チュートリアル	リスニング、スピーキング、プレゼンテーション	会話	プレゼンテーション	ヒアリング	スタンダード	総合的 インテンシブ	リーディング、ライティング、翻訳	中国語による 講義科目	PC使用によ る自学科目																
初級	初級1 (中国語を初 めて学ぶ人)																										
	初級2 (週2コマ 半年程度 学んだ人)																										
準中級	準中級1 (週2コマ 1年程度学ん だ人)																										
	準中級2 (週2コマ 1年半程度学 んだ人)																										
中級	中級1 (週2コマ 2年程度学ん だ人)																										
	中級2 (週2コマ 2年半程度学 んだ人)																										
中上級	中上級1 (週2コマ 3年程度学 んだ人)																										
	中上級2 (週2コマ 3年半程度学 んだ人)																										
上級	上級1 (中国語で自 己表現できる 人)																										
	上級2 (中国語で自 己表現できる 人)																										

注記：「通年」は1年間の科目、「春学期」「秋学期」は春学期科目、「秋学期」は秋学期科目、「春学期/秋学期」は春学期と秋学期にそれぞれ同一内容の科目が開講されることを示す。

2026年度 スペイン語 全学オープン科目マップ

学部	学期	科目名	レベル					授業内容														
			初級	中級	上級1	上級2	導入	基礎力養成	文章表現	口頭表現	ヒアリング	時事	文学・芸術・歴史	文庫語解	文化地誌	読解法						
政治経済学部	春	西語実践演習Ⅰ 01			○																	
		西語実践演習ⅢA 01																				
	秋	西語(初級)Ⅰ 入門	○																			
		西語実践演習Ⅱ 01																				
文学部	春	西語実践演習ⅢB 01																				
		政治学スペイン語文献研究																				
		アカデミックリテラシー演習(スペイン語で学ぶ政治経済)																				
		スペイン語中級(コミュニケーションカンファブ)Ⅰ	○																			
		スペイン語中上級(ニュースで学ぶ)Ⅰ	○																			
		スペイン語で学ぶスペイン語圏の世界(上級スペイン語)Ⅰ	○																			
		スペイン語中級(会話)Ⅰ	○																			
		スペイン語中上級(検定試験をめざす)Ⅰ	○																			
		Intermediate Spanish (Integrated Skills) 1	○																			
		Advanced Spanish: Language in context 1	○																			
教育学部	秋	スペイン語中級(文化を知る)Ⅰ	○																			
		スペイン語中上級(ニュースで学ぶ)Ⅱ	○																			
		スペイン語で学ぶスペイン語圏の世界(上級スペイン語)Ⅱ	○																			
		スペイン語中級(会話)Ⅱ	○																			
		スペイン語中上級(検定試験をめざす)Ⅱ	○																			
		Intermediate Spanish (Integrated Skills) 2	○																			
		Advanced Spanish: Language in context 2	○																			
		スペイン語中級(文化を知る)Ⅱ	○																			
		ツールとしてのスペイン語V																				
		時事スペイン語Ⅰ																				
商学部	春	スペイン語コミュニケーションAⅠ																				
		スペイン語圏の文化と言葉Ⅰ																				
社会科学部	秋	スペイン語コミュニケーションBⅠ																				
		スペイン語・地域研究演習Ⅰ																				
	春	スペイン語・地域研究演習Ⅱ																				
		スペイン語コミュニケーションI 01																				
人間科学部	春	スペイン語コミュニケーションI 02																				
		スペイン語コミュニケーションI 03																				
		スペイン語圏の社会と言語Ⅰ 01																				
	秋	スペイン語圏社会文化論A 01																				
		スペイン語コミュニケーションII 01																				
		スペイン語コミュニケーションII 02																				
国際教養学部	春	スペイン語コミュニケーションII 03																				
		スペイン語圏の社会と言語II 01																				
		スペイン語圏社会文化論B 01																				
		Intensive Spanish I																				
基幹理工学部	秋	Intensive Spanish II																				
		Spanish III																				
		Intensive Spanish I																				
		Intensive Spanish II																				
【レベル】	初級：1年生相当	中級：2年次以上相当	上級1：2年次以上相当	上級2：3年次以上相当	初級	中級	上級1	上級2	導入	基礎力養成	文章表現	口頭表現	ヒアリング	時事	文学・芸術・歴史	文庫語解	文化地誌	読解法				

2026年度 ロシア語 全学オープン科目マップ

レベル	学期	授 業 内 容				視聴覚	留学/大学院 進学準備	
		文字・ 発音	文 法	作 文	会 話			
初級： (おおむね、 1年生に 該当)	春学期	入門ロシア語 1 (文)						
		露語初級 I 入門 (政経)			Russian I 51 (国際教養)			
	秋学期	入門ロシア語 2 (文)						
		Russian I 51 (国際教養)						
通年		ロシア語の基礎 A・B (教育)		ロシア語のコミュニケーションの 基礎 A・B (教育)				
中級： (おおむね、 2年生に 該当)	春学期	練習問題で マスターする ロシア語 1 (文)		ロシア語で 表現する 1 (文)	ロシア語を 読む 1 (文)			
		Russian II 01 (国際教養)		ロシア語で 表現する 7 (文)	Russian II 01 (国際教養)			
	秋学期	練習問題で マスターする ロシア語 2 (文)		ロシア語で 表現する 4 (文)	ロシア語を 読む 2 (文)		ロシア語で 鑑賞する 1 (文)	
通年								
中・上級： (おおむね、 3年生に 該当)	春学期			ロシア語力を 磨く 2 (文)	ツールとして のロシア語 III (教育)	ロシア語演習 III (教育)	アカデミックリテ ラシー演習 (現代ロシア論) 01 (政経)	ロシア語を 読む 3 (文)
						露語実践演習 I (政経)	政治学 ロシア語文献 研究 01 (政経)	ロシア語力を 磨く 6 (文)
	秋学期			ツールとして のロシア語 V (教育)	ロシア語力を 磨く 4 (文)	ロシア語演習 IV (教育)	露語実践演習 II (政経)	ロシア語を 読む 4 (文)
						ロシア語演習 V (教育)		
通年								

2026年度 朝鮮語 全学オープン科目マップ

レベル	学期	総合（発音・文法・表現・読解など）		会話		その他		海外研修
		GEC	文学部 文化構想学部	国際教養学部	GEC	文学部 文化構想学部	文学部 文化構想学部	
入門 初級	春学期	朝鮮語（入門）	文学部 文化構想学部 #1年朝鮮語 (Step 1・2) (週4コマ、1年間で中級 前半レベルまで履修)	Korean I Korean II	文学部 文化構想学部	#第三外国語としての 朝鮮語 初級1	文学部 文化構想学部	海外研修
				Intensive Korean (週3コマ、1学期で 入門・初級を履修)				
進中級 中級	秋学期	朝鮮語（初級）	文学部 文化構想学部 #朝鮮語 中級 (中級後半レベル)	Korean I Korean II	文学部 文化構想学部	#第三外国語としての 朝鮮語 初級2	文学部 文化構想学部	海外研修
	春学期	朝鮮語（準中級）		Korean III Korean IV				
中上級	秋学期	朝鮮語（中級）	文学部 文化構想学部 #朝鮮語 中級 (中級後半レベル)	Korean III Korean IV	文学部 文化構想学部	朝鮮語作文 中級	文学部 文化構想学部	海外研修
	春学期	現代韓国を理解する 朝鮮語 読解 (中上級)		朝鮮語会話 中上級2				
上級	秋学期	朝鮮語 (上級) (最上級レベル)	文学部 文化構想学部 ※朝鮮語 中上級 (中上級前半レベル)	文学部 文化構想学部 現代韓国を理解する 朝鮮語会話 (中上級)	文学部 文化構想学部	朝鮮語会話 中上級3	文学部 文化構想学部	海外研修
	春学期	朝鮮語 上級1						
	秋学期		朝鮮語 上級2	朝鮮語会話 上級2	文学部 文化構想学部	朝鮮語会話 上級2	文学部 文化構想学部	海外研修

1. #印は全学オープン科目ではないため、科目を設置している学部の学生のみ履修可能です。ただし、「1年朝鮮語」を除き、定員に余裕がある場合に限り他学部生の3次登録が可能です。

2. 国際教養学部の「KOREAN」Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・ⅣはそれぞれGEC（グローバル・エデュケーション・センター）の「入門」「初級」「準中級」「中級」「上級」レベルに相当します。なお、国際教養学部は春学期/秋学期の区別にかかわらず毎学期「KOREAN」ⅠからⅣまでの授業が開設されます。

3. ※印の上級科目のうち、GECの「朝鮮語（上級）」は、1年間の韓国交換留学経験者およびそれに相当するレベルの学生を対象とする最上級科目です。また、文学部・文化構想学部の「朝鮮語上級1・2」は学内中級・中上級履修済みの方、短期語学研修経験者レベルの学生を対象としています。

4. *印のAPM科目は授業は朝鮮語（韓国語）で行われますが、英語資料が用いられることがあります。

5. 毎年12月には朝鮮語の講師の方々と協力して2006年から「朝鮮語スピーチコンテスト」を行っています。大勢の学生の参加を期待しています。

GECでは言語レベルに沿った履修のため、入門・初級・準中級・中級レベルにおいて、授業開始後に担当教員がレベルに合っていないと判断した場合に、授業開始後であっても、中上級・上級クラスへの変更を指示する場合があります。

「自然科学系科目マップ」

2026年度 自然科学系 全学オープン科目マップ

自然科学系科目は、大きく6つの領域に分類されます。

領域 分野コード (大分類)	物理・化学系		生物系		地球科学系		複合系		自然地理系		医療・健康系	
	科目名称	設置 箇所	科目名称	設置 箇所	科目名称	設置 箇所	科目名称	設置 箇所	科目名称	設置 箇所	科目名称	設置 箇所
入門・初級	PHY, ASR, CHM	GEC	BIO, ENV, HUM	GEC	PLN, ENV	PLN, ENV, HUM, ANT, GEN	GEO	文学	自然地理学 1	文学	MED	GEC
	科目名称		科目名称		科目名称		科目名称		科目名称		科目名称	
	○身近な化学への招待 (導入) 01, 02	GEC	生命科学概論01, 02	GEC	カーボンニュートラル技術概論 α, β (学部生用)	GEC	環境科学基礎講座 1, 2	GEC	自然地理学 1	文学	地域医療学概論 (2026年度：隔年休講)	GEC
	○身近な物理 (入門)	GEC	○生物と環境	GEC	地球生命史	教育	宇宙を考える1-自然科学、社会科学 学を結びつける宇宙への視点-	GEC	自然地理学 2	文学	先端ロボティクスと医療 (2026年度：隔年開講)	GEC
	○身近な物理	GEC			化石の科学	教育	学術・研究公正概論01, 02 (生命・理工系) (学部生用)	GEC	地誌 1	文学		
	○物理学 I	法学			太陽系の起源と地球の テクトニクス	教育	自然人類学 I A, I B	教育	地誌 2	文学		
	宇宙の物理学	教育			岩石から読み解く地球の活動	教育	自然人類学 II A, II B	教育	地理学 III (自然環境と風土)	教育		
	物理学 I-1, I-2	教育			地球の起源	教育			地理学 IV (風景の科学)	教育		
	○生活の化学	教育			地球システムと環境問題	教育						
	化学 II	教育										
	○身近な化学への招待 (発展) 01, 02	GEC	環境の生物学	教育			科学史・科学哲学	人科				
			動物の機能 I (神経系、循環系)	教育			バイオエシックス	人科				
		動物の機能 II (生態、行動)	教育									
		細胞機能の生物学	教育									
		脳の間脳科学	人科									
		現代の生命科学	人科									
		生命科学のための体のしくみと働き	人科									
		Human Biology 51	国教									
中級												

- は実験・実習を伴う科目。
- 分野コードは Web シラバスの検索画面で選択できます。
- 領域、分野コードはあくまでも目安となります。授業内容の詳細は、必ずシラバスをよく読んで、確認してください。